



生ごみお宝通信 第21号

19. 9. 20

発行：江東区生ごみお宝倶楽部



気温の変化の激しかった夏も終わり、季節は秋の気配が漂っています。台風15号はあちこちで思わぬ被害をもたらしましたが、皆さまはいかがでしたでしょうか。この秋は、マイクロプラスチックの学習会、グリーンフェスティバル、お楽しみの芋煮会を予定しています。ぜひご参加ください。

「海に漏れ出すプラスチック」～マイクロプラスチック問題を学ぼう～

海岸を埋め尽くすごみの山。海流に乗って浮遊し続けるレジ袋やペットボトル、海底に蓄積するマイクロプラスチックなど、今、海に大量に流入するプラスチックが引き起こす問題は待たなしの課題として、世界中の国々がその対策に乗りだしています。ゴミ問題や環境問題で活躍する栗岡さんに現状と問題点を学び、プラスチック製品を日々利用する私たちができることはなにか考えてみませんか？

<日時> **10月7日(月) 13:30~15:30**

<会場> **江東区文化センター 3階 第二研修室**

<講師> **栗岡理子さん**

<定員 30名>

<問合せ・申込> TEL080-3547-8360 伊藤まで

◆栗岡理子(くりおかりこ)さん プロフィール

オルタナ編集委員、日消連環境部会。(略歴) 1980年代からごみ問題に関心をもち活動。子育て一段落後、持続可能な暮らしを研究するため、大学院修士課程に進学。18年3月博士課程修了(経済学)。専門は環境経済学。著書『散乱ペットボトルのツケは誰が払うのか』(合同出版)など



プラスチック



<砂町よっちゃん家 温もりの里のお手伝い>

多世代交流の里「砂町よっちゃん家」ではNaNaの会が子育て支援の一環として子ども達と野菜の栽培を楽しんでいます。お宝倶楽部はそのお手伝いをしていて、9/4に夏野菜の片付けと秋野菜を植える準備、花壇周辺の除草作業を行いました。9/18にブロッコリーの植え付け、亀戸大根の種蒔きを行う予定です。この秋、砂町よっちゃん家は開設3周年を迎えました。地域での居場所づくりが助け合い、支え合い活動の課題になっています。毎週2回(水・金)に開催していますので、関心のある方は見学にお出かけください。

よっちゃん家は昔ながらの純日本家屋と庭。落ち着きますね～！
中で行うプログラムは、スマホ教室、歌声喫茶、防災講座、子育てサロン、こども食堂など～幅広いジャンルです。



いつも水やりに駆けつけてくれる秋元さん、田中さん。笑顔が素敵なお二人です。

